

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	たけどみ かずみ 武富 和美	所属・職名	食物栄養学科・講師
専門領域	栄養学	学位称号	学士(家政学)・1996(平8) 修士(栄養学)・1998(平10)
最終学歴	1998(平10) 中村学園大学大学院栄養科学研究科栄養生化学専攻(修士課程)修了		
資格・免許等	管理栄養士、栄養士、衛生検査技師		
教育上の能力に関する事項			
担当科目	<p><西九州大学：平成18年度> 栄養情報分析と評価、栄養教育論実習Ⅰ・Ⅱ、福祉栄養学実習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰ 臨地実習Ⅰ(給食管理)、健康福祉基礎演習、卒業研究・演習</p> <p><西九州大学短期大学部：平成19年度～現在に至る> あすなろう、共に学ぶあすなろう(栄養)、臨床栄養学、臨床栄養学実習、病態栄養学、 栄養指導論実習Ⅱ、実践食育、食育演習、給食管理実習Ⅰ、卒業研究、ライフステージ 栄養学(平成19年度)、特別講義(平成19、20年度)、学校栄養教育実習(平成19、20年 度)、臨床栄養学特論実習Ⅰ・Ⅱ(平成19、20年度)、公衆栄養学実習(平成19、20年 度)</p>		
教育方法の実践例 教材の開発 教育改善活動等	<p>(教育方法の実践例)</p> <p>① チャレンジ幸齢セミナーへの参加による体験型学習 西九州大学での担当科目「福祉栄養学実習Ⅰ・Ⅱ」において、高齢者との交流を通して、コミュニケーション能力を高めること、異世代間の理解を深めることを目的として、チャレンジ幸齢セミナーへの参加による実践教育を行った。このセミナーでは主に、昼食提供(お弁当配食)、調理実習を行ったが、献立作成から調理実習の運営まで、全て学生主体で実施させた。実施後の授業評価からみても、学生の満足度、理解度は非常に高く、また、参加高齢者の満足度も高かった。</p> <p>② 短時間の実習を取り入れた講義の実施 西九州大学での担当科目「栄養情報分析と評価」において、管理栄養士として最低限必要な統計処理についての理解を深めるために、ポイントを押さえ、流れにそって解いていけば容易に理解できる補助教材を作成し、それを用いて、短時間の演習を取り入れた講義を行った。学生の授業評価から、一般に苦手とされる統計処理を楽しく学ぶことができたとの意見が多くみられ、学生の満足度、理解度は予想より高かった。</p> <p>③ 保育園での食育体験学習 西九州大学での担当科目「栄養教育論実習Ⅰ」において、食育に関する理解を深めるために、保育園での食育体験学習を取り入れた教育・実習を行った。まず園児と遊ぶことにより対象者の把握をさせ、それをもとに指導内容、教材を作成し、発表をさせた。また、その模様はビデオ・デジタルカメラで撮影し、終了後に振り返りをおこなった。実施後の学生アンケート結果からも、学生の満足度が高く、食育や栄養教育に関する理解度が向上した。</p> <p>④ 献立カードを利用した献立作成 西九州大学での担当科目「総合演習Ⅰ」において、献立作成能力を少しでも向上させることを目的として、献立カードを利用した献立作成の実習を行った。まず、班毎に材料別、調理法別、料理別に献立カードを作成させ、それをクラスでまとめ3種類の献立カードを作成した。次に、その献立カードを利用して、1日分、5日分の献立を考えさせ、担当教員がチェックし、特別食への展開まで行った。最終的に、冊子(常食、特別食)としてまとめ配布した。授業の中で献立を立てる時間が不足していることから、初めのうちは1食の献立を考えるのにも非常に苦慮していたが、この献立カードを利用することにより、以前より苦しめず献立を立てられるようになったとの意見が多かった。</p> <p>⑤ 確認テストの導入 担当科目「ライフステージ別栄養学」において実施した。単元毎に確認テストを行い、その場で解答をさせ授業の振り返りを行わせた。実施後の授業評価結果から、単</p>		

	<p>元毎にどこが重要なのかを把握することができたとの意見が多く見られ、学生の満足度は高かった。また、学生自身が各々に授業を理解するための工夫をするようになり学習意欲の向上が見られた。</p> <p>⑥ 視聴覚教材を用いた集団指導の実践 担当科目「栄養指導論実習Ⅱ」において実施した。模擬集団指導の模様をビデオカメラで撮影し、終了後に振り返りをおこなった。他者評価とあわせて評価させることで次回に向けての課題把握をする糸口となったようであり、学生の満足度は高かった。</p> <p>⑦ 地域活動を取り入れた食育体験学習 担当科目「食育演習」において、食育活動の実際を理解させるために、県、市町で実施される食育イベント活動へ授業の一環として参加させた。平成 21 年度には佐賀市食育イベントで、平成 22 年度には食育推進全国大会において、ご当地グルメ「シンリアンライス」の提供を行った。この活動を通して、また、他団体の様々な食育活動を見ることにより食育活動の実際を知ることができ、これから自分自身がどのように食育活動に携わっていけばいいのか考える動機付けになったようであった。</p>
--	--

職務上の実績に関する事項

<p>特別養護老人ホーム福寿園 管理栄養士 (平成 13 年 4 月～平成 15 年 3 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入所者に対する給食管理、栄養管理業務全般に従事。 ・ 介護者教室への参加 ・ 衛生管理マニュアルの作成 <p>栄養管理システムを導入し、業務の効率化を図った。</p>

研究業績等に関する事項

《平成 18 年度～平成 22 年度》

著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月
<著書>			
臨床栄養療法の実習—栄養アセスメントと栄養ケア—	共著	医歯薬出版株式会社	2008
新 臨床栄養学—栄養ケアマネジメント—	共著	医歯薬出版株式会社	2011
<学術論文>			
茶の製法と形状の違いが茶浸出成分に与える影響	共著	永原学園・西九州大学・佐賀短期大学紀要第 36 号, 41-46	2006
豚肉中の呈味および生理機能成分に及ぼす製茶くず給与の効果 (第 1 報) —単飼による肥育後期からの給与試験—	共著	永原学園・西九州大学・佐賀短期大学紀要第 36 号, 71-77	2006
製茶加工残さ給与が肥育豚の枝肉および肉質に与える効果	共著	西日本畜産学会報 50 : 63-69	2007
豚肉中の呈味および生理機能成分に及ぼす製茶くず給与の効果 (第 2 報) —単飼による肥育前期からの給与試験—	共著	西九州大学健康福祉学部紀要第 38 巻、9-15	2008
食育実践への取組み (第 1 報)	共著	佐賀短期大学紀要第 38 号、53-68	2008
古代米の抗酸化性について	共著	西九州大学健康福祉学部紀要第 39 巻、23-27	2009
S 高校生の体組成と食物摂取状況	共著	佐賀短期大学紀要第 39 号、19-30	2009
高大連携の実践と推進を目指して—食物栄養学科と県立佐賀工業高校とのコラボレーション活動をモデルと	共著	西九州大学短期大学部紀要第 40 号、31-40	2010

してー			
佐賀短期大学における学生のボランティア活動の現状と課題（その1）－平成20年度「ボランティア活動に関する実態調査」の結果から－	共著	西九州大学短期大学部紀要第40号、17-23	2010
食育実践への取組み（第2報）	共著	西九州大学短期大学部紀要第41号、	2011
<学会発表> 鶏卵の生産性と卵質に及ぼす色落ち海苔の添加効果	共同	日本農芸化学会 （京都大学、京都女子大学）	2006
カテキンの酸化反応に及ぼす金属イオンの影響	共同	日本食品科学工学会 （日本大学）	2006
カテキンの酸化反応に及ぼす銅イオンの影響	共同	日本農芸化学大会 （佐賀大学）	2006
色落ち海苔を利用した高機能性鶏卵の開発	共同	日本農芸化学大会 （東京農業大学）	2007
短大生の喫煙について－現状と問題点－	共同	第54回日本栄養改善学会 （長崎ブリックホール）	2007
高齢者の食介護－栄養改善のための調理の工夫－	共同	平成20年度日本調理科学会九州支部大会 （アルカス佐世保）	2008
<その他> 第8回FD研修会報告書	共著	佐賀短期大学	2008
佐賀県における産官学連携による「介護予防支援士」養成プログラム－文部科学省「平成19年度社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム委託事業成果報告書」－	共著	佐賀短期大学さが介護予防支援協議会	2008
第9回FD研修会報告書	共著	西九州大学短期大学部	2009
佐賀県における産官学連携による「介護予防支援士」養成プログラム－文部科学省「平成20年度社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム委託事業成果報告書」－	共著	西九州大学短期大学部さが介護予防支援協議会	2009
第10回FD研修会報告書	共著	西九州大学短期大学部	2010
佐賀県における産官学連携による「介護予防支援士」養成プログラム－文部科学省「平成21年度社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム委託事業成果報告書」－	共著	西九州大学短期大学部さが介護予防支援協議会	2010
研究助成等			
学会及び社会における活動等			

(学会活動)

日本栄養改善学会、日本栄養士会、日本家政学会、日本食育学会、日本調理科学会

(社会における活動)

- 日本調理科学会九州支部役員（総務：平成20、21年度）
- 日本調理科学会平成22年度全国大会実行委員（平成22年度）
- さが介護予防支援員養成講座（食生活の支援）講師（平成20年度～現在に至る）
- 介護職員基礎研修（食生活の支援）講師（平成20年度～現在に至る）
- 共生館福祉医療専門学校（家政学概論）講師（平成20年度）
- 星さ国際高等学校（家政学概論）講師（平成21年度～現在に至る）
- 波佐見町社会福祉協議会食事づくりボランティア研修会講師（平成22年度）
- 緑生館総合看護学科（栄養学）非常勤講師（平成22年度）
- 佐賀陸協医事委員会委員（平成22年度）